

お腹の赤ちゃんを温かく迎える

佐賀のまちづくりについての要望書

「私たちはみな、誰一人欠けてはならない大切な存在であり、みんな生まれて来た意味があります。お母さんのお腹に宿った赤ちゃんのいのちも皆、生まれて来る意味があります。

お腹の赤ちゃんは授かりものであり、未来を担う大切な佐賀県民です。

佐賀県は、誰もが安心して暮らせる、みんなに優しいまちづくり、安心して赤ちゃんを産み育てることができる「子育てし大県”さが”」に取り組んでおられ、大変心強く感じております。

私たちは、このような佐賀県のまちづくりに、以下のことを要望致します。

1. お腹の赤ちゃんを安心して産み育てることができるよう、「お腹の赤ちゃんお祝い金」(誕生準備金)、「出産お祝い金」などの支援を行う。
2. お腹の赤ちゃんの生きる権利を奪う「経口中絶薬」の承認に反対し、いのちの始まりを大切にするまちづくりを要望します。

※今、お腹の赤ちゃん、小さいいのちをめぐる、看過できない状況が起こっています。薬を飲んで中絶を行う「経口中絶薬」が、年内に承認されようとしています。これは、お腹の赤ちゃんのいのちを奪い、女性の心身を蝕む薬です。「経口中絶薬」の承認に反対します。

令和4年 6月11日

佐賀いのちを大切にする会